

TMG あさか医療センター広報誌

ご自由にお持ち下さい
Take Free

病院と患者さま・家族をつなぐ

かけはし

2023. 4

Vol.11

Spring

特集 ドクターズインタビュー「てんかん」

PICK UP：コンシェルジュ

ご意見箱より「みなさまの声をカタチに」

連携医療機関：TMG サテライトクリニック朝霞台





特集

てんかん

脳神経外科 部長 中本 英俊

—「てんかん」とはどんな病気でどのような症状がありますか？

脳は神経細胞の集まりで、微弱な電気をやりとりすることで活動していますが、一時的に過剰に興奮してしまうのを発作といいます。てんかんというのは、その発作を繰り返し起こす脳の病気です。発作には様々な種類があります。全身のけいれんを起こして倒れる発作が確かに多いですが、けいれんせずに意識を失ったまま動きが止まったり、手足をもぞもぞと動かすなど、本人のみならず周囲の人が見ても気づきにくい発作もあります。

—主な検査や治療はどのようなものですか？

よく問診した上で、脳波や脳MRIを行います。脳波ではてんかん特有の異常波が見つければ、てんかんの病型診断に役立つことがあります。MRIでは脳に器質的な異常が見つかることがあり、発作と関連している場合があります。それでも診断がつかない場合や薬剤治療が効きにくい場合は、より正確な診断を行うために数日から1週間かけてビデオ脳波検査を行います。ビデオ脳波では、発作を起こしている瞬間を脳波とビデオに記録できるため、病型診断に基づく薬剤調整、てんかんではない発作の鑑別にも大変有用です。

—診療体制について教えてください

当センターでは月曜から土曜まで「てんかん専門外来」を設置し、てんかん患者さんが受診しやすくしております。予約受診がスムーズですが、発作が多い時などの臨時受診、紹介状がない場合の受診も、対応しますので外来までご連絡下さい。医療機関からご紹介いただいた患者さんに

ついては、診断・治療を行い、治療経過が安定してきたら再び近隣の医療機関で通院できるよう、逆紹介も推進していきます。夜間の発作に対する救急受診はもちろん、重積など重症管理が必要となる場合も集中治療室や持続脳波モニタリングを備えておりますので集学的な治療を行うことができます。てんかんの治療は薬物治療が基本ですが、薬物治療では発作のコントロールがつかず、生活に支障がある場合は、ビデオ脳波を始めとする評価を行った上で、適応があればてんかん外科治療を行い、発作予後を改善させることができます。ケトン食による食事療法や新薬の臨床治験も当センターで行っております。

—手術件数（治療件数）について教えてください

てんかん外科については、当センターでは現状、小児を除く年齢層に対し、ほぼ全てのてんかん外科手術を行っています。海外では行われているが、まだ日本で認可されていない手術がいくつもあり、今後少しずつ国内でも広がっていくと思われます。当施設でも順次対応できるようにしていきます。

手術件数については、根治的手術、緩和的手術を含め年間20～40件のてんかん外科治療を行っています。（詳しくは当センターのホームページをご参照下さい。）

—アピールポイントを教えてください

当センターは、地域に根差した「てんかんセンター」であり、てんかんセンターとしての役割と救急医療の役割について高いレベルでの両立を目指しています。

てんかんセンターとして、ビデオ脳波・てんかん外科治療・食事療法・社会調整など、てんかんについて高度な検査・治療を行うことができ、なおかつJR武蔵野線と東武東上

線が最寄り駅に通っており、埼玉県内だけでなく、都内からのアクセスも良好です。一般病院ならではのフットワークの軽さも長所の一つです。

一方、発作の難治性重積などで濃厚な急性期治療が必要になった時の治療体制も、神経集中治療部と力を合わせ充実させてきました。神経ICUという場において、重症な状態をてんかん専門医と神経集中治療医が毎日協力しながら治療を行うというスタイルは、持続脳波モニタリングと同様、本邦でも数少ないと思います。急性期治療も高いレベルを目指しており、遠方の医療機関からの難治性てんかん重積の紹介転送にも迅速に対応しております。



中本部長について少しお話を聞かせてください — TMG あさか医療センターとの出会いは？

移転する前の朝霞台中央総合病院の頃からです。脳神経外科医になりたての頃、非常勤で脳神経外科当直で働いていたときは、夜間に搬送されてくる患者さんが多く、寝る暇が殆どなかった日も多かったと記憶しております。その後、東京女子医科大学脳神経外科医局の関連病院をいくつか回って働いている時期に、先代センター長の久保田医師（現東京女子医科大学足立医療センター脳神経外科教授）と出会っててんかん学に興味をもち、2014年に朝霞台中央総合病院脳神経外科部長として赴任いたしました。そこでてんかんについて臨床経験、学術講演、学会発表などの経験を積ませてもらい、てんかん専門医を取得できました。2018年に現在のTMGあさか医療センターに移転し、現在に至ります。

— 医師として心掛けていることは何ですか？

医師というよりは人として、という感じになりますが、現状の自分や状況に満足しきらず、変化を恐れないことです。上手くいかない時、挫けそうになる時、突破するには、相応の努力と忍耐が必要ですが、それが自分自身を成長させる機会だと捉えるようにしています。もちろん、真面目で堅苦しい考えばかりでは努力を続けられないので、適宜気分転換をするバランス感覚も大事だと思います。

医師として備えるべき、患者さんやスタッフに対する責任感や愛も、自分自身のあり方次第だと思うので、ポジティブでいられるよう、心身の健康には気を付けています。

— 医師のやりがいを感じるのはどんな時ですか？

てんかん診療している立場としては、てんかん患者さんの発作がよくなり、生活が充実している姿を見ることです。特にてんかん患者さんの場合、治療は一生続く場合が多いので、一生の付き合いになるわけです。例えば、女性で高校生の時にてんかんを発症し、発作で苦労されていた方が薬剤調整でよくなり、就職し結婚して出産し子育てを頑張っている姿を見ると、励みになります。外科医的な視点で言うと、自分の手で患者さんを手術し、それで発作が著しく改善し、生活や人生が大きく変わったとなれば、純粋に心から嬉しいと思う一方、外科医特有の満足感に束の間浸ることもあります。患者さんの人生における活躍の舞台をそっと支える、そんな存在であり続けたいと思います。

— これからの目標を教えてください

第1に埼玉県の他のてんかんセンターと連携し、埼玉県のとんかん診療体制を強化することです。すなわち、てんかんの診断困難例や難治性てんかんをてんかんセンターに集約させ、診断・治療し安定化したら地域にお返しするという流れを作ることです。そのためには、市民公開講座や各団体での教育講演による市民への啓蒙はもちろん、一般診療医にてんかん診療についての基礎知識をつけてもらうことが課題です。これには様々な媒体の利用、工夫や行政との連携も必要です。

第2に当施設の発展です。脳神経外科、神経集中治療部、神経内科、コメディカルのスタッフの院内教育はもちろん、対外的に研修生を受け入れる教育体制を整えたり、学術・研究活動にも力を入れ、大学病院に劣らない人材の充実を目指したいと思っております。

Dr. からメッセージ

【患者さまへ】

てんかんという病気は、いったん診断を受けると治療を続けなければならないことが多く、それゆえ患者さんの生活にとっても大きな影響があります。正確に診断し、安全に治療を続けていくことが重要です。発作や薬の副作用、生活や仕事などについて心配なことがあればどうぞ気軽に相談下さい。

【地域の先生方へ】

てんかんは、中には発作が目立たず、なかなか鑑別診断に上がらないこともあります。一方、てんかんでないにも関わらず抗発作薬を内服し続けている患者さんもいて、診断するのが難しい側面があります。現状の診断に疑問がありましたら、どうぞ気軽に紹介いただきたく存じます。薬剤治療についても、ちょっとした薬剤調整で発作コントロールやQOLが改善することもあります。一方、薬剤抵抗性で早期に外科治療の適応判断が必要な場合もあります。治療についても何かお困りのことがありましたら、協力いたしますので、お気軽にご相談下さい。今後もてんかんについての地域講演を積極的に行ってまいりますので、宜しければ是非ご参加くださいませ。

部署紹介リレー

笑顔で病院と患者さまの
橋渡しをする
接遇のプロフェッショナル

01 コンシェルジュ

OUR STAFF

わたしたちの自慢のスタッフを
ご紹介します!

目配り

気配り

心配り



コンシェルジュカウンター
Concierge Counter



「初めての病院で場所がさっぱりわからない…。
受付の機械もあるみたいだけど、どうやったらいいの？」
「ちょっと聞きたいけど、みんな別の対応で忙しいそう…。
受付も並んでるし、これって誰に聞いたらいいのかしら…」

TMG あさか医療センターの
「コンシェルジュ」を
ご存じでしょうか？

主な業務内容

- 該当窓口へのご案内
- 機械操作のお手伝い
- 手が不自由、目が見えづらい方の
「問診票」記入のお手伝い

※その他、患者さまのご要望に応じ
多岐にわたって対応しております。

ご利用されるみなさまがご不便に感じている点を改善し、スムーズに受診ができるようにとの思いから、新たな部署として2年前に「コンシェルジュ」が立ち上がりました。

コンシェルジュは初めて来院される方にも安心してご利用いただけるよう笑顔で対応し、患者さまが迷うことなく受診できるよう、病院内のあらゆる場面で積極的なサポートに取り組んでいます。

お一人おひとり丁寧に対応し、ご利用いただきやすい病院となるよう、「患者さまのために何かできることはないか」と常に寄り添って業務に励んでいきたいと思っております。
何かお困りごとがあれば、お気軽にコンシェルジュにお声かけください。

TMG あさか医療センター
管理栄養士監修

しいたけ入り チャーハン

病院で提供の旬の食材を利用したメニューをご紹介します。
ご家庭でもお楽しみください。



春の食材を食べて元気いっぱい過ごしましょう!!

椎茸の旬は3～5月と9～11月です。冬を越した春の椎茸は「春子」と呼ばれ、身が縮まってうま味があるのが特徴です。しいたけは食物繊維の他、ビタミンB群、Dなどの栄養素を豊富に含んでおり、その中でのエリタデニンという成分は血中コレステロールの増加を防ぐ効果があると言われています。

材料 (2人分)

・ごはん	400g	・サラダ油	大さじ1
・卵	1個	・中華コンソメ	小さじ1/2
・長ネギ	1/3本	・塩	少々
・椎茸	2個	・コショウ	少々
・焼き豚	40g	・ごま油	少々
		・醤油	小さじ1

つくりかた

- ①油を敷いたフライパンでしいたけと卵を炒り、その後ごはんを入れて炒める。
- ②ある程度炒めたら焼き豚と長ネギ、調味料を入れて味を調える。



各課で改善に取り組んでいます!

TMG あさか医療センターではみなさまからのご意見やご要望を受け付ける「ご意見箱」を設置しております。お寄せ頂いたご意見についてご紹介いたします。

みなさまからの声

シャトルバスの本数を増やしてほしい。

職員の方が乗っているみたいでそれは構わないのですが、定員オーバーで患者が乗れなくて、次のバスまで待っているのが当たり前になっています。

本数を増やす、バスを大きくする、患者職員専用(乗車時に患者バス・職員名札提示等)にするなど改善してください。(同様のご意見多数あり)



ご不便をおかけし大変申し訳ございません。バス時刻・乗車人数を見直し

2023年5月よりダイヤ改正 を行ないます。**特に利用者の多い朝8時台は4便から6便へ増便し、10分間隔での運行といたしました。**5月のダイヤ改正後も乗車状況を検証し、皆さまにご利用いただけるよう努めてまいります。

改善しました!



ホームページ
バス時刻表QRコード

みなさまからの声

体に麻痺があり、再来機で受付をする時に杖を落としてしまうので、「杖置き」を付けてほしい。



ご不便をおかけし大変申し訳ございません。再来機横に「杖ホルダー」を設置いたしました。また受診に際してご不便に感じる事、ご心配事がございましたら、お近くのコンシェルジュまでお声掛けください。お手伝いさせていただきます。

改善しました!



みなさまからの声

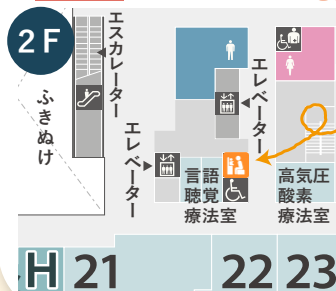
2Fのトイレにもベビーチェアを付けてほしい。(1Fにはあるのに2Fはないです)

子供を抱きながらのトイレはもちろん大変ですし、2Fになく1Fに降りることも絶望を感じました…ぜひご検討ください。



ご不便おかけし大変申し訳ございません。直ちに **2F多目的トイレ(右側)にベビーチェア** を設置 しました。

こちらが目印です



扉に「ベビーチェア」のシールが貼ってあります。

受診の方どなたにも快適に院内を利用していただけよう努めてまいります。

改善しました!



みなさまからいただきました貴重なご意見をもとに、患者さまの立場にたった心温かい医療サービスの向上を心がけ、さらなる病院運営の改善に努めてまいります。皆様からのご意見・ご感想などを心からお待ちしております。



病院で活躍中の **きざと** と輝く
 ★★ **あさかスター** ★★ をご紹介
 入職 2 年目 臨床工学部 **藤野 開** さん

Q1、この仕事を選んだ理由や動機は何ですか？

家族に医療従事者がおり、元々医療系に興味を持っていました。医療系ドキュメンタリーやドラマを見ていくなかで人工心肺装置やその他医療機器を操作する仕事を調べる中、「臨床工学技士」に興味を持ったことがきっかけです。

Q2、TMGグループに入社を決めた理由は何ですか？

希望する業務が私に合っているのかが実際に携わってみないと分からないと考え、多くの関連施設があり、業務も幅広く携わることのできる TMG グループに入社することを決めました。

Q3、仕事内容について教えてください

主に ① 機器管理業務 ② 血液浄化業務 ③ 高気圧業務 ④ カテ室業務 ⑤ 手術室業務があります。私は ①～③の業務に携わっているのでその3つをご紹介します。

- ① 機器管理業務…病棟で使用する機械の保守点検、呼吸器などの使用中点検等を行います。看護師さんに機械の使い方を教える時もあります。
- ② 血液浄化業務…腎機能が下がっている患者さんに、人工腎臓の役割を持つ透析膜を使用し血液をきれいにして体内に返す業務です。
- ③ 高気圧業務…突発性難聴などの患者さんに酸素カプセルのような機械に入ってもらい、地上の2倍の気圧(2気圧)をかけ治療を行う業務です。

Q4、仕事で心掛けていることは何ですか？

大学時代の恩師に頂いた言葉ですが「機械の先には使用する患者さんが必ずいて機械のことだけでなく患者さんのことも考える」ように心がけています。

Q5、仕事のやりがいは何ですか？

患者さんの笑顔や、ありがとうの言葉を頂いた時です。言葉をうまく発せない患者さんであっても、ジェスチャーでありがとうや目で笑っているとわかる場面もあります。その時はとてもやりがいを感じています。

Q6、仕事を通じ学んだこと、心に残るエピソードなどありますか？

治療中どうしても気分が悪くなってしまう方がいて、ご本人も「なんで気分悪くなるんだろうつらい…」とおっしゃっていました。条件等を調整していき、ある時不快なく治療を終えることができました。退院日の帰り際にわざわざ車椅子の向きを変えて「今まで治療ありがとう！お世話になりました！」と元気におっしゃって下さったのが印象に残っています。

Q7、今後の目標を教えてください。

担当する業務も今後増えていくので、今までの業務はより正確に、新しい業務については疑問点はすぐ解決し習得できるようにしたいと思います。



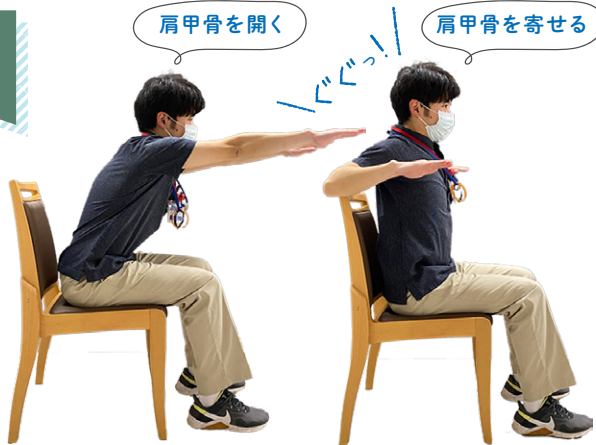
vol.1

臨床工学部 藤野 開さん

すきま時間にリフレッシュ🎵 座ったままでらくらくストレッチ

すきま時間にぜひ取り入れてみてください!
無理のない範囲で行うことが大切です。

肩



やり方

- ①前ならえの姿勢
- ②両腕をまっすぐ前に突き出す
- ③肘を曲げ腕を後ろに引いて胸を張る

効果

肩甲骨が開いたり、閉じたりすることで肩甲骨周りの筋肉が解れて、肩こり防止に繋がります

腰



やり方

- ①手のひらを合わせます
- ②まっすぐ真上に伸びをします
- ③身体を前に倒して床を触ります

効果

背中（特に腰）の皮膚や筋肉が伸びて腰痛予防に繋がります

膝



やり方

- ①背もたれから背中を離して良い姿勢
- ②右膝をゆっくり伸ばして、5秒キープ
- ③右足をゆっくり降ろす
- ④※左足も同じように繰り返す

効果

太ももの筋肉が鍛えられて、歩く・座る・階段を上がるなどの動きやすさに繋がります。

主治医から運動制限を受けている方は運動をお控えください。

TMGあさか医療センターは 身近な「かかりつけ医」を持つことを勧めています

TMGあさか医療センターは救急医療・高度な検査や入院治療を提供できる地域の基幹病院として地域の開業医の先生方と連携・協力し、医療機関の役割分担しながら、地域のみなさまが安心して円滑に診療を受けていただけるお手伝いをしています。このコーナーでは、当院の登録医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

医療機関のご紹介



連携登録 TMGサテライトクリニック朝霞台

地域医療のパートナー

院長：笠井 恵 先生
 標榜科：一般内科 / 胃腸内科 / 腎臓内科(人工透析)
 住所：〒351-0021 埼玉県朝霞市西弁財1-8-21
 電話番号：048-452-7700
 アクセス：東武東上線 朝霞台駅 徒歩3分
 JR武蔵野線 北朝霞駅 徒歩5分
 休診日：土曜日午後・日曜日・祝日

当院は、外来診療に加え、お客様の職場等に出向いて行う巡回健診や、人間ドック、市から委託された個別がん検診、特定健診などの健康診断を実施している複合型のクリニックです。

健康診断後、受診が必要になった際には、当クリニックの内科外来にて、再検査や経過観察が可能になっております。また、より専門的な検査、治療が必要な際は、TMGあさか医療センターと連携し、患者様一人ひとりに適したフォローアップが可能です。同一の診察券を利用することが出来るため、患者様の情報、検査結果やレントゲン写真などを共有し、スムーズな診療に活用することができます。患者様、地域の方々との信頼関係を築くことを大切に、病気の予防・早期発見から治療まで、患者様の健康維持のため、最適で最良の医療を提供出来るよう努めてまいります。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
14:00 ~ 17:00	○	○	○	○	○	/



サテライトクリニック朝霞台
ホームページ QR

お知らせ



入院サポートセンター：入院案内動画のご案内

TMGあさか医療センターでは、外来2階にある「入院サポートセンター」にて入院患者様に対するサービス向上を目指し、入院に関する情報を出来るだけ詳細にお伝えするように日々取り組んでおります。このたび2月より、動画でもお伝えしていきたいと考え「入院案内動画」を病院ホームページにて公開いたしました。



入院案内 (youtube動画)

当院に入院される際の手続方法や入院中の生活に関する大切なことが記載されています。(スマートフォンで閲覧可能)
 患者さまはもちろん、ご家族の方も是非ご一読ください。



読者アンケート
QRコード

読者アンケート募集中

「かけはし」では、読者のみなさまの声を生かした広報誌づくりを行うためご意見・ご感想を募集しています。
 ご意見・ご感想は QRコードを読み取りいただき、アンケートフォームより送信してください。みなさまの「知りたい!」にお応えできるよう、また幅広い方々に愛読されるような広報誌を目指しております。次回は10月発行予定です。

